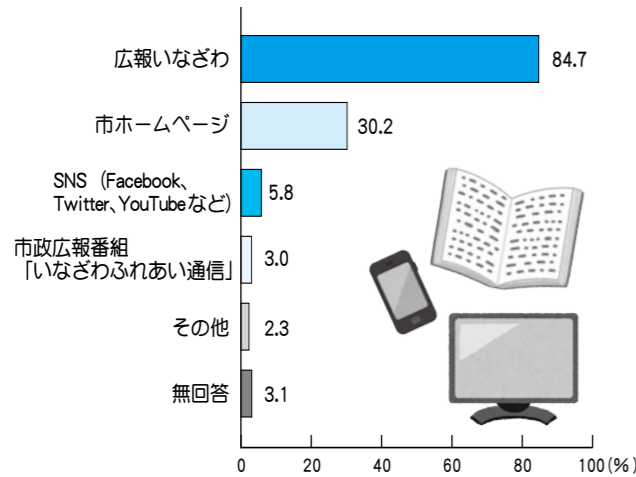


### 市政情報を得る媒体について

市政情報を得る媒体は、「広報いなざわ」が84.7%と最も高く、次いで「市ホームページ」が30.2%となっています(図4)。

図4 市政の情報を得るために、どのような媒体を利用していますか(あてはまるもの全てを選択)

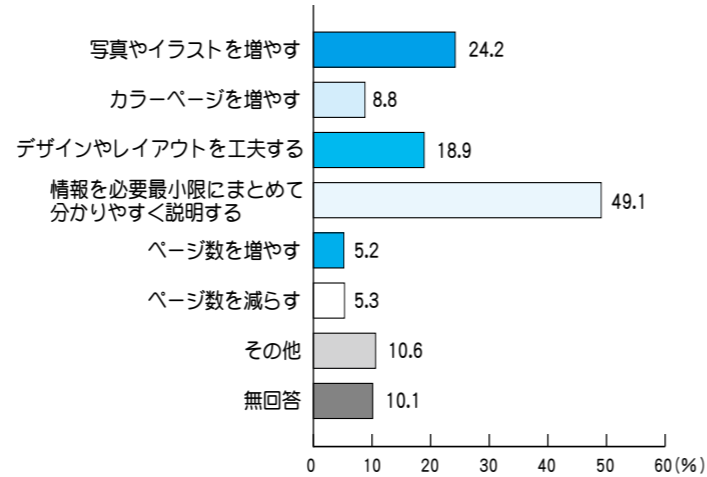


この結果を踏まえ、これまで以上に掲載する情報を精査し、写真やイラストなどを有効に活用した、見やすく読みやすい広報紙の作成に努めていきます。

### 「広報いなざわ」に求める工夫について

「広報いなざわ」にどのような工夫や改善が必要かについては、「情報を必要最小限にまとめて分かりやすく説明する」が49.1%と最も高くなっています(図5)。

図5 今後、「広報いなざわ」にどのような工夫や改善が必要だと思いますか(あてはまるもの全てを選択)



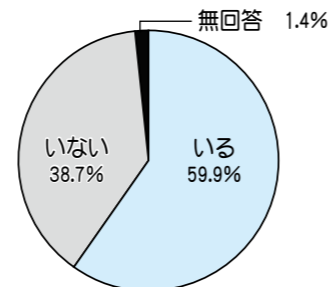
### 災害時に避難する際の手助けについて

台風など災害時に避難する際、家族や近所の方など、手助けをお願いできる人がいるかは、「いる」が59.9%、「いない」が38.7%となっています(図6)。

この結果を踏まえ、共助の取り組みを推進する中で、避難行動要支援者名簿の整備などを進めていきます。



図6 台風など災害時に避難する際、家族や近所の方など、手助けをお願いできる人がいますか



多くの貴重な意見をいただきました。この調査結果をもとに、魅力と活力あるまちづくりを進め、住みよい稲沢市を目指していきます。調査結果をまとめた冊子は、市役所行政情報コーナー、図書館、市のホームページで閲覧することができます。



# 市政世論調査 市民のこえ

令和2年8月に市民を対象に市政世論調査を行い、結果をまとめた冊子『第25回市政世論調査 市民のこえ ~調査結果のまとめ~』を作成しました。その中から、一部を抜粋して紹介します。

問合せ先 市役所秘書広報課 ☎0587(32)1126  
ID 1007257

### 住みやすさについて

稲沢市を住みやすいところだと感じているかについて、「住みやすい」が54.4%、「住みにくい」が8.8%、「どちらともいえない」が36.2%となっています(図1)。

前回調査と比べると「住みやすい」は4.8ポイント高く、「住みにくい」は4.9ポイント低い結果となっています(図2)。

居住地区別にみると、稲沢・小正・下津地区で「住みやすい」と感じている方の割合が6割と高くなっているのに対し、千代田地区では「住みにくい」と感じている方の割合が他の居住地区と比べて2割と高くなっています(図3)。

図1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか

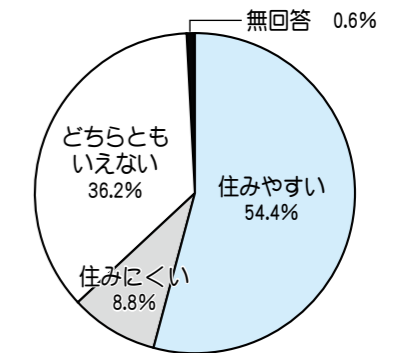


図2 稲沢市を住みやすいところだと感じますか(過去の調査との比較)

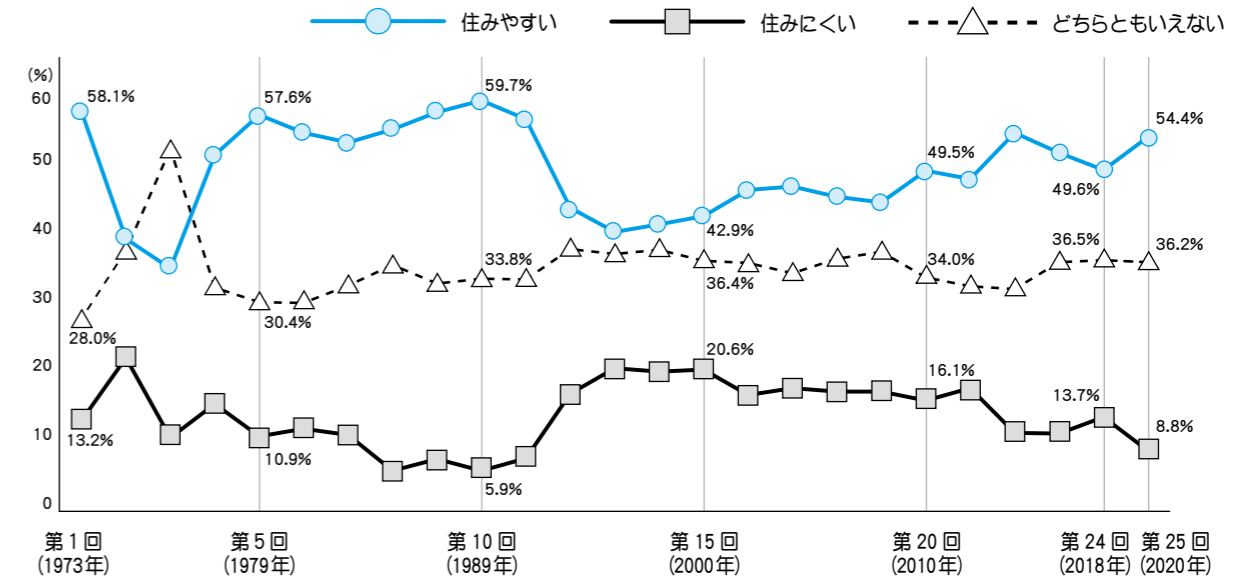


図3 稲沢市を住みやすいところだと感じますか(居住地区別)

